



Photo:K.Umetzu

# 庄内総合支庁ニュース

平成23年  
10月号

発行日  
平成23年10月 1日

写真:飛島「御積島(おしゃくじま)夕景」  
御積島と烏帽子群島に日が沈み、静かな一日が暮れる

## 掲載項目

### ●今月の注目情報

- ・「食の都庄内」推進会議・サポーターの集い(1面)
- ・食・映画・景観活用シンポジウム(1面)

### ●知っ得(?)情報

- ・地域ふれあい講座(2面)
- ・映画ロケ地巡り(3面)
- ・県民相談ガイド(3面)
- ・「食の都庄内」季節の食材(4面)
- ・ひとくちコラム(4面)
- ・お知らせ(4面)

### ●事業紹介

- ・地域伝統野菜産地づくり推進(2面)
- ・グリーン・ツーリズム推進(2面)
- ・庄内・村上岩船地域広域連携推進事業 事業報告(3面)

## 「食の都庄内」づくりの輪がさらに大きく！

### 推進会議・サポーターの集い



庄内の食と食文化の素晴らしさを“食べて、見て、学んで体感する”「食の都庄内」づくり推進会議・サポーターの集いが、9月18日(日)鶴岡市グランドエル・サンを会場に、100名を超える参加者のもと、和やかに開催されました。

「食の都庄内」親善大使3名に委嘱状が手渡され、会場からは、これまでの取組への感謝と今後への期待に向け盛大な拍手が送られました。その後、親善大使から、この1年間の活動や東日本大震災での被災地への炊き出しの報告とともに、「食の都庄内」づくりにかける想いが語られました。

各大使からは、「加工業者や流通業者、観光とも強力に手を組んで、ブランド化を推進したい!」、「一般の食品スーパーでも庄内産食材が味わえるように、関西でも宣伝

したい!」、「日本全体が元気になるには、ここ庄内が元気にならないと始まらない。食文化や地産地消の下地がある庄内は「食の都」そのもの!」との熱いメッセージがありました。

この後、庄内の在来野菜をはじめとした庄内産品をふんだんに使ったランチでは、参加者の皆さんから「おいしい」の連発!話題は食材の入手や調理方法に花が咲き、和やかな雰囲気になりました。また、会場には、庄内産の加工品やPRのパンフレットなどが展示され、参加者の関心を集めていました。



「食」を通じた地域活性化を目指す「食の都庄内」づくりは、サポーターの皆さんが交流を深め、情報交換を行うことで「新たな可能性」を生み出す「きっかけ」となっています。サポーターの皆さんの力で新たな第一歩を踏み出した「食の都庄内」。今後もみんなで盛り上げていきましょう!

(産業経済企画課 産業企画担当)

TEL 0235-66-4723

## 食・映画・景観活用シンポジウム

のらりくらり

### 「農楽里・食楽里・農村散歩」を開催します

鶴岡市羽黒地域は、羽黒山や庄内映画村オープンセット等の県内有数の観光資源に加え、海・山・平野が一体となった美しい景観や、食味の高い農産物等が生産される、魅力ある地域です。農業体験や癒しなどの旅行ニーズが多様化する中、地域の住民が資源に気付き、磨き上げ、さらには他分野と連携した新たな取組による地域の活性化を図るため、シンポジウムを開催します。

■日時 10月25日(火)  
14時~16時45分

■場所 いでは文化記念館

■講演

羽黒から庄内の魅力を考える  
~もうひとつ旅を求めて~

【講師】高谷時彦氏 東北公益文  
科大学大学院教授

■パネルディスカッション

異業種連携による地域資源の  
魅力向上と新たな観光の可能性

【出演者】(株)出羽庄内地域デザイン  
代表取締役 小林好雄氏、農家  
民宿知憩軒代表 長南光氏、庄  
内映画村(株)顧問 平野克己氏、



鶴岡市副市長 山本益生氏

■特別出演

鶴岡中央高等学校からの提案

『“脱・ありきたりの旅” ~6つの”  
ター”で庄内再発見』

※定員100人、参加費無料  
(地域振興課)

TEL 0235-66-5439

(農村計画課 企画担当)

TEL 0235-66-5549

事業紹介

地域伝統野菜産地づくり推進

「伝統野菜」って御存知ですか？在来作物、伝承野菜などと表現されますが、一般的には、概ね昭和20年以前から栽培されている野菜を「伝統野菜」と呼んでいます。

山形県では、現在県内に残る100種類余りの「伝統野菜」の普及や種の保存を目的に「地域伝統野菜産地づくり」を進めています。

庄内地域には「だだちや豆」、「温海かぶ」を代表に、約40種類の伝統野菜があります。その中には、特定の家・人が栽培しているものがあり、大滝さんが



温海かぶ



萬吉なす

作った「大滝にんじん」萬吉さんが作った「萬吉(まんき)なす」などが、今もなお残っています。

伝統野菜は、食材の一つであるとともに、地域であるいは先人が守り受け継

いできた貴重な「財産」です。現在後継者がいないことで絶滅の危機に瀕している作物もあります。産直施設などには多くの伝統野菜が販売されていますので、ぜひ購入いただき「生産者」の方々の「想い」を感じていただければと思います。



輪渡川原きゅうり

(産業経済企画課 産業企画担当) Tel 0235-66-4723

事業紹介

今、注目のグリーン・ツーリズム



近年、食への関心が高くなっています。農山漁村を訪れ、農林漁業体験を通して地域の人たちと交流し、休日を楽しもうという方が増えてきました。農山漁村でゆっくりとした時間を過ごすこと、それが今回のテーマ、グリーン・ツーリズム(以下、GT)です。今回はGT関連事業の一つをご紹介します。

庄内でも、農林漁業者の方がGTに携わったり、旅行会社が旅行商品にGTを取り入れたり、GTが徐々に盛んになってきていますが、農林漁業者が売りたいものと消費者が望んでいるものとの間には若干のギャップがあるようです。

そこで、まずは両者のギャップを埋めるため、両者が現場に集まって、お互いの状況をよく話し合う機会を設ける事業を行っています。お互いの理解が深まり、より良い旅行商品の造成に結び付けてもらえば、交流人口が増えるのではないかと考えています。

地道な活動ですが、関係者一同、GTを活用した地域の活性化に向けてがんばっています。

(観光振興室)

Tel 0235-66-5492



知りたいことはありませんか？ 職員出前講座「地域ふれあい講座」

庄内総合支庁が行っている事業や新しい制度などについて、職員が地域の皆さんの集会等にお伺いして説明させていただきます。毎月1つずつ紹介していきます。今月は……

こころの健康づくりについて

～眠れない・寂しいはうつ病のサイン

長引く不況等により社会・経済状況が変化し、ストレスにより心身の不調を訴える方が増えています。自殺者は全国で年間3万人を超え、大きな社会問題となっています。

自殺の前段階としてうつ病があり、これを放置すると自殺が起こりやすくなります。うつ病は人口の15%程度が一生のうち一度はかかると言わ

れ、誰にでも起こる可能性があります。しかし、早く気づいて治療すれば回復する病気です。この講座では、うつ病に関する知識、こころを健康に保つためのヒント等をお話します。正しい知識を身につけ、日々をいきいきと過ごしていきましょう。

(地域保健福祉課 障がい者支援担当)

Tel 0235-66-4931



地域ふれあい講座

検索

おおむね10名以上であれば町内会の集まり、学校の行事、会社の研修等、庄内どこへでもお伺いします。

【問合せ・申込み先】

総務課 総合案内窓口 Tel 0235-66-5598

事業報告

庄内・村上岩船地域広域連携推進の取組について

隣り合う庄内南部地域(鶴岡市、三川町、庄内町)と村上岩船地域(新潟県村上市、関川村、粟島浦村)の連携を推進するために民間団体と行政が力を合わせて「庄内・村上岩船地域広域連携推進会議」を設置し、活力ある地域づくりを進めています。

この連携推進会議の呼びかけにより、9月17日に行われた山王ナイトバザールに、新潟県村上岩船地域から4店が出店し、鮭、村上茶、村上堆朱(漆器)、竹炭など村上岩船地域の食品・特産品を販売する交流イベントを行いました。併せて、両地域の地域資源や歴史について紹介する展示を行い、当日訪れた多くの方々にお互いの地域の魅力を知っていただきました。さらに、10月22日、23日には、村上市ふれあいセンターで開催される「ふるさとの観光と大物産まつり」に、



庄内地域から食品や特産品を出店し、庄内地域の紹介を行う予定です。

両地域の交流は増えてきているのですが、まだ十分に知られていないという課題があります。交流活動を活発にしていくと共に、情報の発信にも力を入れていきたいと思ひます。

日本海沿岸東北自動車道の全線開通に向けた動きが加速する中、今後さらに、民間団体や住民レベルで人と人を結び、地域の資源を活用した交流を進めることにより、両地域の活性化に結び付けたいと考えています。地域振興課 地域振興主査 阿部陽一郎 Tel 0235-66-5442



取材レポート

候補地含む

『玉川寺』映画ロケ地巡り



玉川寺の庭園は「花のあと」の主人公以登の自宅庭として、他にも「必死剣鳥刺し」などが撮影されました。私が訪れた日はあいにくの雨でしたが、雨に濡れたことで緑の濃淡がはっきりと映り、色鮮やかでした。庭園奥の木々にはうっすら霧がかかり、縁側で何も考えずに眺めているだけでとても癒されました。(あまり教えたくないのですが)毎年6月頃に夕方から夜に開

かれるコンサートがオススメです。暗くなると蛍の光が庭園の中を飛び、石灯籠にはロウソクが灯されて本堂と書院もわずかな明かりになります。そんな中で聞く音楽はひと味違います。本堂入り口近くに萩の花が咲いていました。これからは紅葉が楽しめますので、ぜひ足を運んでみてください。(支庁ニュース編集員) 地域保健福祉課 奥山智美

Tel 0235-66-5656

庄内総合支庁の

県民相談ガイド

酒田市の宮野浦地区は、酒田市美術館や土門拳記念館といった文化施設や東北公益文化大学等が立地している地区です。

地区内の中央に位置する若宮町は、松林に囲まれた閑静な住宅街で、その一角に県営住宅川南団地があります。

川南団地では、平成17年度から全5棟(各24戸)の全面改修工事を進めてきました。



このたび、最後の5号棟の修繕が10月下旬に完成します。

【5号棟の改修工事概要】

- 外壁の補修を行い、全面塗装
- 全戸、全室の内部補修(床、壁、天井)を行い、下地、仕上材の更新
- 建具、断熱材の更新
- 洗面所、風呂場、トイレの各種衛生器具の更新、システムキッチンの更新
- 水道、電気配管の更新

県営アパートに関する相談

入居の申込みは、10月上旬を予定しています。また、入居可能日は12月1日からを予定しています。(建築課 住宅営繕担当)



Tel 0235-66-5640 (県営住宅等指定管理者 株式会社西王不動産庄内事務所(支庁3階)) Tel 0235-66-3210

「食の都庄内」季節の食材

# サケ

海の幸 & 庄内浜文化伝道師レシピ編

山形県には20ヶ所以上のサケふ化場があり、毎年たくさんの稚魚を放流し、本県のサケ資源を支えています。サケは放流後3～5年で生まれた川に帰ってきます。海では小魚からプランクトンまで幅広く食べますが、産卵のため河川を遡上する際には餌は一切とりません。海では主に定置網で漁獲されます。

### 秋鮭のホイル包み蒸し



#### 【材料(4人分)】

鮭80～100g(4切)、シメジ茸(1/2パック)、アスパラ(2本)、エリンギ茸(1本)、バター(40g)、昆布5cm角(4枚)、アルミホイル25×30cm(4枚)

#### 下味用

酒(大さじ4)、塩(小さじ1)、旨味調味料(少々)

#### すだち醤油

醤油(大さじ4)、だし(大さじ2)、酢(大さじ1)、すだち(1個)・すだち果汁(小さじ2)

#### 【作り方】

1. 鮭は小骨を取り(うろこが余計な場合は皮を引く)、酒、塩の中に5分位漬ける。
2. シメジ茸は石づきを取り小房に、エリンギ茸は4等分にして横半分に、アスパラは固い根本を切り落とし4等分にして縦半割りにする。
3. アルミホイルに昆布を敷き、鮭、シメジ茸、エリンギ茸、アスパラを置き、上にバターをのせ、アルミホイルを折り込み、蒸し器にて水が沸いてから10分位蒸して完成。  
(フライパン又は鍋を使用する場合は、折り込んだアルミホイルの1/3位の高さまで水を張り蓋をして蒸して下さい)
4. すだち醤油を猪口に入れ、一緒に添える。

庄内浜文化伝道師マスター 渡部孝太郎氏((社)日本料理研究会酒田支部長)

(水産課 振興普及担当)

Tel 0234-24-6045

ひとくちコラム

## 庄内深発見!

夏の初めに月山に登った。山頂に鎮座する月山神社は神社の格でいうと東北随一だそうで、卯年御縁年の今年参拝すれば、普通の年の12倍の御利益があるらしい。現世利益と神頼みが大好きな長女が、急に、登るから案内しろと言う。



庄内側の弥陀ヶ原からのコースは、花が多く、なだらかで歩きやすい。2時間程で頂上に着いたが、あいにく曇っていて展望はない。12回分のお参りをし、そそくさと山を下りた。しばらく下ると、雲が切れて、突然、目の前に弥陀ヶ原の湿原が広がった。ウソみたいな眺めである。すばらしい景色に満足して車に戻った。

長女の御利益がどうなったかは知らないが、考えてみれば、自分は毎年月山に登っているのだから、前回も前々回の御縁年もお参りしている筈だ。少なく見積っても60倍の

御利益があることになると、バチ当たりなことを考えている。 出納室長 鈴木 孝治



# お知らせ

## 10月の主な行事

日	曜	時間	行事名	会場等	担当所属	電話
9	日	9:30	きのご鑑別・相談会	櫛引温泉「ゆ〜TOWN」	生活衛生課	0235-66-5664
29	土	14:00	映画を核とした地域活性化に向けたトークショー	東京第一ホテル鶴岡	地域振興課	0235-66-5439

### 身近な生活から生まれる社会起業家育成講座

社会起業家とは、環境や福祉等の社会的課題をビジネスの手法で解決するために起業した人たちのことです。

各分野で活躍中の社会起業家による講演もありますので、是非ご参加ください。

■開催日程 10月30日～11月下旬(全5回)

■主な講師 (株)大地を守る会 藤田和芳氏  
(株)旅のお手伝い楽楽 佐野恵一氏  
NPO法人あらた 齋藤 緑氏

■場 所 東北公益文科大学公益ホール

■受講料 5,000円(講演会、ディスカッションを含む全10講分)

※講演会のみ聴講の場合、各回500円

#### 【申込先】

社会起業家育成研究会事務局 Tel 0234-41-1065  
(産業経済企画課商工労政担当) Tel 0235-66-5489

### 第10回 百年の森づくり 田沢川ダムまつり

森と湖に親しむ機会を提供し、ダムや周辺の自然環境を身近に感じてもらうことで、この環境を守り育てる意識を高めてもらうことを目的に開催します。

■日時 10月16日(日)10時～14時

■場所 田沢川ダム周辺(酒田市山元地内)

■内容 ダム堤体見学、木工教室、浄水の仕組み実演、太鼓演奏、地元の方々の芸能発表、一輪車演技発表、魚のつかみ取り、ダム湖遊覧、ヨット、カヌー教室、苗木のプレゼント(先着150本程度、1家族1本まで)、売店(いも煮、がに汁等)

■主催 田沢川ダムまつり実行委員会(河川砂防課内)

Tel 0235-66-5634

#### 発行元

庄内総合支庁 総務課 総合案内窓口  
TEL 0235-66-5598

FAX 0235-66-2835

総合案内窓口では、県民の皆さまのご意見・苦情・お問い合わせを受け付けています。

